

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	63	課コード	0101	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)									
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 組織的な行政改革の推進	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	総務部・総務課		
	③事業主体	個別事業 行政改革推進プランの推進	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ○全市					
	⑤事業期間	平成31年度 ~	⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.6人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	5,818千円 (うち人件費 5,340千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード 83201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		
(2) 目的	施策目的・展開方向	地方分権が進展する中、多様な行政需要に効率的・効果的に対応するため、機能的・弾力的な組織づくりを推進します。また、少数精鋭を基本に定員管理の適正化に取り組みながら、優れた人材を確保するとともに、限られた人材を最大限活用するため、職員研修、人事考課、職場環境づくりやメンタルヘルスケアの充実			事業目的	少子高齢化の進行、財政の逼迫等、厳しい社会経済情勢の変化に対応した簡素で効率的な行政システムの構築を目的とする。			
(3) 事業内容	内容	市の基本構想に定められた「効率的で効果的な行政運営」の基本的な取り組みのもとに、総務省から地方行政サービス改革の推進の主要事項として挙げられている事項を中心に次の6つを取り組みの主要事項として取り上げた「第4次行政改革推進プラン」を着実に実行する。なお、「第4次行政改革推進プラン」は令和2年度までの計画期間としていたが、令和4年度からスタートする次期総合計画に定める行政運営の方向性と一致させることが必要であること、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各改革項目の検討、実施、検証に支障が生じていることから、現プランに掲げた取り組みの基本的な考え方を継続しつつ計画期間を令和3年度まで延長しました。			当該年度執行計画	計画の期間である2018(平成30年)度から2021(令和3年)度に取り組みべき改革項目の結果検証。行政改革推進委員会の開催月に限り短期的にAI文字起こしによる筆耕翻訳を試行し、同期間中に開催される審議会等の議事録等作成での活用や、外部へ依頼する筆耕翻訳の代替手段としての活用を図る。			
		当該年度活動結果指標	改革項目のうち見直しを実施された件数		単位	項目	想定値	42	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	計画に示されている年度別計画に基づき改革項目を達成する。			直接	改革項目のうち見直しを実施された件数		項目	10	42
令和4年度				-			項目	0	0
令和5年度				-			項目	0	0
(7) 事業実施上の課題と対応	行政改革、新たな行政システムの構築は単年で完成するものではない。多様化する市民ニーズや社会情勢を把握し、的確に対応する必要がある。			代替案検討	○有 ●無				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	地方分権の推進や少子高齢化の進展など自治体を取り巻く環境が大きく変化の中で、様々な課題に的確に対応しつつ、行政に対する市民の満足度を向上させていくためには、簡素で効率的な行政システムを確立する必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		行政改革推進委員会に市民の参加がある。委員の意見を踏まえプランを策定している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(項目)	目標値(b)(項目)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	10	42	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(項目) 達成率(%) (f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.72	単位 費用単位 項目 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (83), 課コード (0101), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for 2022, 2023, 2024, and 2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向